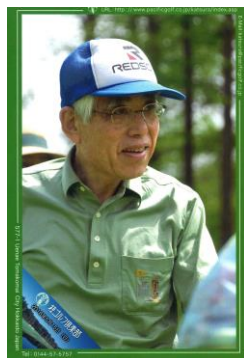




細谷優子 後藤まどか 永田ひとみ
坂和章平弁護士 坂和宏展弁護士
(写真左上から) (平成28年6月24日撮影)



直腸ガンを克服し、北海道・苫小牧のゴルフ場において笑顔でゴルフに挑む勇姿を皆様に！
(2016. 5. 15)

『シネマ37』の表紙は、北京電影学院“実験電影”学院奨の受賞式で坂和弁護士がスピーチする姿。これは一体なぜ？



暑中お見舞い申し上げます。

1) 安倍内閣が憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使を認める閣議決定を行ったのは2014年の7月1日。以降、「強行採決」された「平和安全法制」を巡って、「これは戦争法案だ！」と主張する勢力と国論が二分されるのでは？と心配したが、幸か不幸か「60年安保」や「70年安保」のような状況には至っていない。

他方、2012年12月16日の総選挙で圧勝した第2次安倍政権が華々しくぶち上げたアベノミクスは、円安・株高基調を生み出し、日本経済の好調ぶりを世界にアピールしたが、近時の世界的な「原油安」、ヨーロッパで深刻な「難民問題」、更に日銀が採用した「マイナス金利政策」等の影響を受けて失速気味。あれほど固く約束した8%から10%への消費増税を先延ばしした安倍内閣の経済、財政運営の今後の見通しは？

2) 安倍首相が今夏の衆参同時選挙を見送った最大の要因は、4月に起きた熊本地震への配慮。7月10日を投票日とする参院選挙の改選議席は半分だから、衆院選挙のような政権選択選挙ではないが、改選分について与党が過半数を獲るかどうかが形式的な勝敗の分岐点。しかし、ホントの焦点は「一強多弱」体制の延長として、参院も与党+改憲勢力で3分の2を占めるかどうかだ。参院選挙後の政治と経済が安定すれば、憲法改正に向けて、まずはその「発議論争」が始まる可能性がある。今年の暑い夏は、そんな政治決戦の1つの到達点に注目！

3) 舛添要一東京都知事の政治資金規正法違反疑惑はそのセコさとわかりやすさのため、マスコミと国民の大反響を呼んだ。そのツケは7月31日の都知事選挙として都民に跳ね返ってくるが、日本人はいつまでこんなバカなことをくり返しているの？6月に公開された映画『帰ってきたヒトラー』のように、いっそのこと橋下徹元大阪市長が都知事になって大ナタを振るえば・・・。そんなありえない妄想さえ湧いてくるが、さて今夏の現実にある東京都民の選択は？

4) アメリカでは泡沫候補と思われていた不動産王ドナルド・トランプがあれよあれよという間に共和党の大統領候補に決定。民主党内でサンダースとの指名争いに辛勝

したヒラリー・クリントンとの間で11月8日に決選投票が行われる。日米関係は、中曽根康弘＝レーガン、小泉純一郎＝ブッシュの時のような「蜜月関係」が理想だが、もしトランプ大統領が実現すれば、それは悪夢？基地を維持するための日本側の費用負担増のみならず、米軍の引き揚げがホントに話題に上ってくるの？そんなことになれば、韓国、台湾、フィリピン等を含む東アジア全体の安全保障体制に激震が走ることに必至だ。さあ、日本はどうするの？

5) EUからの離脱？それとも残留？そんな大論点について、イギリス国民は6月23日の国民投票で歴史的な選択を下した。51.9%(1741万票)VS48.1%(1614万票)の僅差だが、これってホントに良いやり方？キャメロン首相の「読み違い」が今後の世界の政治経済に与える影響はバカでかい。あの時こうしていれば、という「歴史上のif」にしないための、日本と日本人のベストの選択は何？それを真剣に考え、答えを探さなければ！

6) 毛沢東の指導で1966年に始まった文化大革命から50年。「反腐敗」運動で薄熙来、周永康、徐才厚らの大物を次々と駆逐した習近平は個人崇拜色を強め、来年秋の第19回党大会に向けた人事面での布石も着々と進めている。このままでは経済面を担当している共青团出身の李克強首相もヤバイかも？海洋大国、軍事大国を目指す動きとともに、この夏は中国の政治経済から目が離せない。

7) 今年の囲碁界は井山裕太7冠の誕生と囲碁AI(人工知能)「AlphaGo(アルファ碁)」の強さの話題で沸騰。他方、将棋界では佐藤天彦名人の誕生で、羽生世代vs20代若手の構図が現実。若くして亡くなった天才棋士、村山聖を描いた映画『聖の青春』の公開を待ちながら、若き才能ある日本人の活躍に目を向けた。

8) 直腸ガンの手術から1年を経過。幸い転移もなく、何とかこれを克服した今夏、新たな人生観の下で人生の再出発に臨みたい。皆様のご健勝を願っています。

2016(平成28)年6月27日記

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

1 弁護士業務

1) 再開発関連では目下、①岐阜駅東地区市街地再開発組合、②草津駅前再開発組合、③和歌山・友田町4丁目再開発組合の顧問弁護士として活動中。徳島新町再開発については6頁の「トピックス2」で。

2) 「水都大阪」の推進は結構だが、そのための官民の役割分担はどうあるべき？そんな大きな論点で、大阪地・高裁前にある若松浜公園を特定のレストランが占有することをめぐって、大阪簡裁に調停を申し立てたのは昨年2月。依頼者は毎年の天神祭にも大きく寄与している西天満町連合会の、行動力も口も達者な役員（長老？）たちだ。町会に事務所を持つ私としては、「地域のために一肌脱ぐべし」と考えて頑張っているが、論点が難しいこともあって、マスコミが大きく報道しないのが不満。しかし、粘り強い協議を積み重ねた結果、近々一定の合意ができそうなので、調停成立の暁には、しっかり報告したい。

3) 昨年6月、吹田市桃山台5丁目の開発許可をめぐってデベロッパーから受任した事件の論点は、開発地域には新御堂筋から入る道路がないため、代替地の提供などと引き換えに公園の一部を廃止してもらうことができるか否か、というもの。吹田市との当初の交渉では、一民間デベのために公園の廃止という都市計画の変更をするのは到底ムリ、というけんもほろろの対応だった。そのため、都計法29条に基づく開発許可の申請をやり、それを拒否されれば行政訴訟を提起するという強硬手段も検討した。ところが、昨年5月に就任した後藤新市長が8月に任命した池田副市長は本件開発に理解を示したため、今年4月以降私も参加して副市長との協議を開始した。折しも、「保育園落ちた日本死ね!!!」の書き込みから、保育園の設置を求める声が全国的に広がったが、本件開発では新たな保育園の設置も計画に入っている。したがって、本件開発は一民間デベの利益ではなく吹田市全体の利益になるもの、というのが私たちの主張だ。テーマは大きく、論点は多岐にわたるため協議は容易ではないが、問題解決に向けて全力を尽くしたい。

4) 北海道苫小牧での離婚・親権・養育費・子どもの引渡し・夫婦同居をめぐる調停・審判事件の私の依頼者は夫の方。一般的にこの手の事件は妻の方が強いいため、苫小牧支部での調停・審判事件は分が悪かった（敗訴）うえ、札幌高裁での即時抗告審や最高裁の許可抗告・特別抗告審も軒並み敗訴。しかし、妻が申し立てた離婚調停は昨年4月に不成立で終了していながら、離婚訴訟を提起しないまま婚姻費用だけ請求し続けるのは不当。そう考えた私が捻り出し、今年3月に札幌家裁苫小牧支部に提訴したのが「離婚請求権不存在確認請求訴訟」だ。このような事例は文献にもなく、おそらく日本初の裁判ではないかと思われる。5/16には第1回の期日が開かれ、今後はさらなる法律論の展開を予定。アカデミックな論争と実質的かつ実践的な解決が模索されている。

2 出版関係

1) 新日本法規の加除式本、①『わかりやすい都市計画法の手引』、②『問答式 土地地区画整理の法律実務』、③『Q&A 災害をめぐる法律と税務』の新設問と補正設問の執筆は、今や1年間を通しての重要な作業になっている。次々と法律が新設・改正されるため、ネタに事欠かないのはうれしい。それを常にフォローし、勉強するのは大変だが、今後も重要な仕事の柱に位置付け、こなしていきたい。

2) 昨年11月には、やっと民事法研究会の『早わか

り！大災害対策・復興をめぐる法と政策』が出版できた。これは、近時次々と制定された膨大な災害法制を体系的に整理し、論点ごとに解説したタイムリーな本なので、その売れ行きに注目！次は、学芸出版社の『まちづくりの法律がわかる本』の出版が予定されている。こちらは複雑・難解な都市計画法を「母なる法」としたまちづくり法全体を、とにかく坂和流でわかりやすく読み解くもの。着手後しばらく中断状態なので、夏の間に少し書き進めるつもりだ。

3) 6月に入ると、毛丹青、李淵博、雑誌『在日本』の関連で、中国語による『中国人の知りたい日本の法律』（仮題）を出版する企画が急浮上。「法治国家」を目指している中国でも、都市計画、環境・公害、知的財産等の大テーマから、生活に密着した住宅、交通事故と保険、結婚・離婚、相続・出産等まで、日本の法律に対する興味と関心は高い。『在日本』は中国人留学生の視点から日本のさまざまな姿を紹介するものだが、日本の弁護士の視点から、中国13億の人々へ日本の法律をわかりやすく解説すれば、ひょっとしてその本はバカ売れ？そんな期待を持って着手したい。

3 各種講演

1) 昨年11月28日、大阪府日中友好協会主催の文化茶話会で「坂和の日中交流の楽しみ方と坂和的中国電影論」と題する講演を。これは、①中国映画だけで約300本の鑑賞数と3冊の『坂和的中国電影大観』の出版、②北京電影学院での講義（07年10/10）、③北京電影学院“实验电影”学院奨のスポンサーとして授賞式に参加（15年6/29）、という私の実績を評価してくれたため。日独の戦後70年記念の映画や近時の中国のトピックスを話題に大いに盛り上がった。こんな楽しい講演なら、何時でも、何度でも！

2) 2010年11月に茨木市の要請で実施した「マンションセミナー」が好評だったため、今年7月23日には再度私が登壇することに。これは、高齢化等を背景とした管理組合の担い手不足等の問題に対応するため、今年3月にマンション管理の適正化に関する指針と標準管理規約が改正されたことを背景としたもの。マンション管理は民主主義の学校。それが私の基本哲学だから、あらゆるレベルで民主主義が形骸化している今、この講演では技術的なことよりも人間としての理念、価値観の再構築の必要性を強調したい。

4 事務所体制

冒頭の写真のとおり、目下、事務所はチョー少数精鋭体制。一人が1.5人～2人分の能力を発揮すれば、全体が回るのは当然だが、任務過重になることは避けたいので、一騎当千の強者の入所を期待したい。

5 健康問題

1) 坂和の直腸ガン摘出手術、人工肛門閉鎖手術、仕事への復帰は「トピックス1」のとおり。ところが坂和の自転車通勤が復活した4月、今度は妻の員子が「腰が痛い。動けない」と訴え、救急車を呼ぶことに。

2) 天六の行岡病院に救急入院した員子の病名は、腰椎椎間板ヘルニア。4/11から5/18まで約40日間の入院を余儀なくされた。退院後は帝国ホテルフィットネスのプールでの歩行等のリハビリに精を出しつつ主婦業はこなしているが、今後も無理は禁物だ。

3) やっと員子が退院できた直後、今度はパソコン打ちで驚異的能力を発揮している事務員・後藤まどかが腹膜炎で5/23から入院し、退院後も6/5まで自宅療養を余儀なくされた。その痛手は大きく、細谷と永田に大きな負担をかけてしまったが、そんなハプニングへの対処のためにも、人材の補充が不可欠だ。

「おおさかシネマフェスティバル2016」の開催、授賞式後のパーティー（3/6）（写真は4頁）

1) 40周年記念となる「おおさかシネマフェスティバル2016」が3月6日（日）ホテル エルセラーン大阪5階・エルセラーンホールで開催された。その運営は実行委員長の高橋聡氏と事務局長の安永五郎氏を中心に行ってきたが、ベストテンの選定、作品賞、監督賞、主演・助演男・女優賞等の個人賞の選定、参加者への参加要請や会場設営等その仕事は多い。しかし、今回はその実行委員会の事務局の場所を、西天満コートビルの2階に移転した。

2) これは、大阪市の補助費の削減がささやかれる中、経費の節減と集まりやすさの確保のためだが、映画好き、イベント好きの私にとっても、空いている部屋を

使ってもらい、映画祭のお役に立てるなら願ってもないこと。部屋を無償で貸すといってもパソコンとプリンターを置くだけだし、その使用も毎日ではなく会議の時だけだから、事務所の負担は小さい。それ以上に人が集まってくる楽しさの方が価値があるわけだ。

3) 恒例の浜村淳さんの司会による映画祭は大成功。終了後の懇親パーティーには、佐藤浩市（主演男優賞）、樹木希林（主演女優賞）の2人が最後まで参加し親しく懇談を重ねてくれた。大物ぶらないその姿勢に改めて感心！さらに藤野涼子（新人女優賞）やミズタマリ（ワイルドバンチ賞）らの若手美人女優らとも親しく懇談することに。

実行委員会の打ち上げ会をコートビル2階で開催（4/23）（写真は4頁）

1) 映画祭の準備作業は実行委員会の各人がそれぞれの仕事を粛々とこなすことによって進むもの。また、授賞式後のパーティーでも、裏方はあくまで裏方に徹するもの。そんな実情を知っている私の提案で、4月23日には実行委員会のメンバーと関係者を慰労する打ち上げ会をコートビル2階で開催した。

2) 打ち上げ会は、高橋聡実行委員長と安永五郎事務局長のあいさつから始まり、浜村淳さんの軽妙な司会の中、和気あいあいと映画祭の報告、感想、反省の言

葉が飛び交った。1人1人の発言を聞いていると、いかに各人がこの映画祭に真剣に取り組んでいるかがよくわかった。

3) 2時間余りの懇談で年輩者が帰った後、酒豪たちは夜遅くまで残って映画談議に花を咲かせた。後日、聞くとところによれば、酔いつぶれてダウンした女史もいたそうだが、こんなに楽しい飲み会ならいつでもOK。実は、ここで既に来年の主演男優賞候補まで議論されているから、今後の事務局体制は盤石だ。

近畿交通共済との自宅懇親会（H27.7/24、10/16、H28.1/29）、お花見懇親会（H28.4/8）（写真は5頁）

1) 昨年4月に引っ越した都島区の3階建て新居の披露を兼ねて、7月に近畿交通共済の鈴木常務や各地所長を招待し、屋上でバーベキュー大会を開催したところ、それが大好評。そのため昨年10月には坂和の退院祝いを兼ねた2度目の懇親会を、今年1月には新年会を兼ねた懇親会を、自宅で開催した。

2) すると、今度は鈴木常務側の主催でお花見懇親会が企画され、4月8日には大阪キャッスルホテル「錦城閣」でそれを開催。自宅での手作りパーティーとは一味も二味も違う豪華さの中で、手術以降完全に断酒

している坂和も酒豪が多い共済の面々と談笑。「みんなが本音で語れるこんな楽しい会はめったにない」と大いに盛り上がった。立派な吊り看板にビックリなら、プロのカメラマンによる懇親会終了後の集合写真の撮影の周到さにもビックリ！

3) 今回は7月25日に都島の自宅で再び天神祭パーティーを開催することに。川沿いに打ち上げられる大量の花火を見ながら、北海道から直送される（予定の）ラムやマトンのジンギスカン鍋に舌つづみを打ち、楽しい会話とおいしいお酒を楽しみたい。

祝！淵博株式会社設立、祝！『在日本』大阪事務所開き（5/27）（写真は5頁）

1) 日本のさまざまな事象を表現し、中国人に啓蒙するための中国語の雑誌『在日本』が3月に創刊号を出版。5月には第2号が、7月には日本語版が出版。8月には上海のブックフェアでイベントが行われる。

2) 神戸国際大学の毛丹青教授の第1期生で、2015年3月の卒業後、当事務所の就労ビザで働いていた李淵博くんは、昨年12月当事務所を離れ、上海で新たに立ち上げた会社のCEOに就任した。『在日本』は、毛さんたちがこれまで5年間やってきた『知日』とは異なる視点で、中国の留学生の目から日本のさまざまな姿を紹介するものだ。

3) その最大のスポンサーは博報堂だが、これまで毛さんの取材を続けてきたNHK、毎日放送、読売新聞、アジア太平洋センター等々も関心を示し、取材と支援を続けている。さらに李くんは今年3月新たに淵博株

式会社を立ち上げて、従来の人文知識・国際業務ビザから、新たに経営・管理ビザを取得。会社の本店として、私の事務所があるコートビル2階（約30坪）の賃貸借契約も締結し、登記手続も完了した。

4) 5月27日にはコートビル2階に各界の支援者たちを中心に、神戸国際大学と神戸市外国語大学の留学生たち計約30名が集まり、盛大な「祝！淵博株式会社設立」「祝！『在日本』大阪事務所開き」を開催した。毛さんの司会、私の乾杯の音頭で始まったパーティーの出席者からは、次々と『在日本』との関わり、今後の『在日本』への強い期待が語られた。

5) 何事もチンタラと会議を重ねる日本式と違い、中国式はとにかく早い。毛丹青方式はさらに早い。中国語版と日本語版『在日本』の大ブレイクと、若き李淵博CEO、そして淵博株式会社の大躍進を期待したい。

「おおさかシネマフェスティバル2016」の開催、授賞式後のパーティー（3／6）



授賞式後のパーティーで、総合司会の浜村淳さんと並んで。



授賞式後のパーティーで、主演女優賞の樹木希林さん、新人女優賞の藤野涼子さんと並んで。



授賞式後のパーティーで、新人女優賞『ソロモンの偽証』の藤野涼子さんと並んで。



授賞式後のパーティーで、ワイルドパンチ賞のミズタマリさんと並んで。

実行委員会の打ち上げ会をコートビル2階で開催（4／23）



左から、高橋聡さん、安永五郎さん、浜村淳さん



浜村さんの軽妙な話に大笑い！



浜村さんを囲んで全員集合！

坂和章平とすばらしき人たち～交友録 その20～安永五郎氏

1) 1976年から数えて40年の歴史を持つ、おおさかシネマフェスティバルの看板は、実行委員長である大阪日日新聞の高橋聡氏と名司会で毎回会場を魅了するパーソナリティの浜村淳さん。他方、裏方で事務局の膨大な作業を支えているのが安永五郎氏だ。

2) 彼は、1971年に関西大学社会学部を卒業後、日刊スポーツに入社。以降、文化部の映画とスポーツを長年担当し、09年の退社後はフリーライターに。その後大病を患って入院したが、まもなく復帰。今年間500～600本の映画を観ている強者だ。

3) おおさかシネマフェスティバルのベストテンと個人賞の選定者資格は、関西で公開された作品を年間200本以上鑑賞した関西在住の映画ファンとジャーナリスト。安永氏の推薦で私がはじめてその投票をしたのは2007年の時。以降毎年投票を続けてきた。

4) 02年6月の『SHOW-HEYシネマルーム1』の出版以降、試写室で鑑賞する映画の数が爆発的に増

えたのと平行して、出版数も04年は3冊、05年は2冊、06年は3冊、07年には4冊、08年には5



とんかつ屋「喜多呂」の前で2ショット！

冊、09年には4冊、と増えていった。多い時は年間340本の映画を観ていたから、ホントに弁護士が本業かどうか分からないほどだった。もっとも、出版コードをとって「文芸社」での出版を続けても一向に本屋で売れないという現実を前に、09年8月の『シネマ22』以降は、①自費出版、②お薦め50作、③年間2冊のペース、に改めた。そんな私の映画評論家としての活動を一貫して評価し、温かく見守ってくれたのが安永氏だ。

5) 安永氏の血液型はB型。それを反映して、性格は大らか(大ざっぱ?)。私の弁護士生活40余年の経験では、事務局長はA型でキッチリ型の方が向いているはずだが、手作りの映画祭!何でもありの映画祭!を自称するおおさかシネマフェスティバルでは、彼の事

務局長のキャラがホントによく効いている。もっとも、有能な秘書として実質的に彼を支えているのは、とんかつ屋“喜多呂”の看板娘・宮田賀江さんだ。

6) 映画は人を楽しませるもの。また、映画祭も人の輪で楽しく作っていくもの。そんなユニークなおおさかシネマフェスティバルを、上(役所、大監督、スターたち)からも、下(宮田さんたち多くの若手美女)からも支えられて、飄々と事務局長の役割を果たしている安永氏が、今後も元気で活躍されることを期待したい。



“喜多呂”の看板娘、宮田賀江さん

近畿交通共済との自宅懇親会(1/29)、お花見懇親会(4/8)



<1月29日>都島自宅で懇親会



<4月8日>お花見懇親会

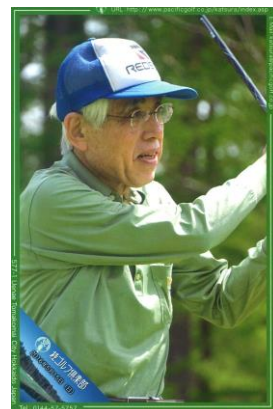
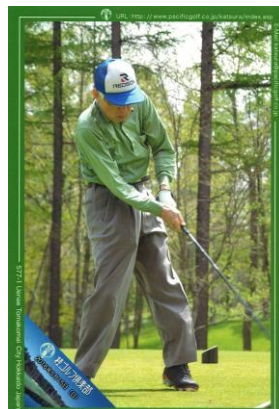
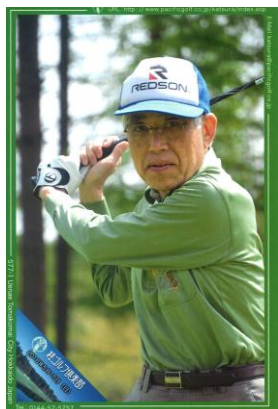
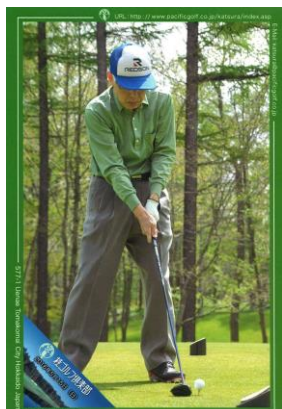


お花見懇親会 近畿交通共済協同組合有志一同
～坂和 章平先生・坂和 宏展先生を囲む会～
平成28年4月8日 攝 城 閑

祝! 淵博株式会社設立、祝! 『在日本』大阪事務所開き(5/27)



苫小牧の桂ゴルフ倶楽部でゴルフ(5/15) —華麗なフォーム(?)に注目!



トピックス1 直腸ガンを克服し、苫小牧の桂ゴルフ倶楽部で1年半ぶりのゴルフ！（5／15）（写真は5頁）

1）直腸ガンです。3、4cmあります。人工肛門になるかもしれません。そんな宣告を受けたのは昨年8月。大腸の内視鏡検査を受けた結果だった。野菜中心の食生活に留意し、フィットネスでの運動を続け、健康診断を定期的に受けていた私が一体なぜ？それは、便潜血反応を痔による出血だろうと安易に判断し、内視鏡検査をパスしていたためだ。

2）1カ月後の9月に大阪市立総合医療センターで直腸ガンの摘出手術を受けたが、肛門に近い部位だったため肛門の内括約筋も同時に切除。そのため2週間余で退院できたものの、その後は仮人工肛門（ストーマ）での生活を余儀なくされた。しかし、6カ月後の今年3月には人工肛門の閉鎖手術を実施し、1週間の入院を経てやっとストーマ生活に決別できた。私の直腸ガンは「ステージ2」の段階で、他の臓器への転移がなかったことが確認できたのは、何よりも幸いだった。

3）次の課題は排便コントロールだが、これはこれで相当やっかい。しかし、1、2カ月经つとそのコツがわかり、仕事は通常状態に。自転車通勤と帝国ホテルでのサウナも定着し、週に1、2度のジムでの運動も復活した。また、摘出手術以降酒は完全に断っているが、週に1、2度は誰かと夜の会食を楽しむまでに。

4）そんな状況下でチャレンジしたのが、北海道の苫小牧に出張した際の親しい依頼者とのゴルフ。設定日は5月15日だ。北海道の5月はまだ寒いくらいだが、「晴れ男」である私の1年半ぶりのゴルフの日は快晴。新千歳空港から直接ゴルフ場に向かい、2組6人で久しぶりのゴルフを楽しんだ。スコアも60と55だから、病み上がりで1年半ぶりのゴルフにしては上々。プロのカメラマンに撮ってもらった分解写真のような写真を見れば、フォームがイマイチなのは明らかだが、冒頭写真のように笑顔だけは一流？

トピックス2 徳島市長選挙で「白紙撤回」派の市長が当選（3／27）—新町西地区再開発の行方は？—

1）徳島市の新町西地区再開発について、補助金の支出が違法であるとして、反対派住民がその返還・差止めを求めた住民訴訟は、昨年11月27日、住民らの請求を棄却する、被告市・補助参加人組合にとっての勝訴判決が言い渡された。しかし、判決理由中で、住戸部分と小ホールの配置を入れ換えた「設計変更」について、都市計画の変更手続をしなければならないのにこれをしていなかった点に瑕疵があるとの指摘を受け、徳島市は都市計画の変更手続に着手。一方で反対派住民は判決を不服として控訴していた。

2）そんな中、3月27日の徳島市長選挙で、再開発を推進してきた現職の原市長が敗れ、再開発の「白紙撤回」を公約に掲げた遠藤氏が新市長に当選した。そのため、4月以降、再開発の現場は大混乱に陥っている。都市計画決定、組合設立・事業計画認可と進み、権利変換計画の認可を経て権利変換期日を迎えると、

地権者らの従前の権利が一斉に変換されるため、再開発事業の「ポイント・オブ・ノーリターン」として事業の中止は法的に不可能となる。本件では、組合が4月6日に権利変換計画の認可申請をしたばかりだ。しかし、遠藤新市長は、「白紙撤回は市民との公約」だとして「権利変換計画を認可しない」「今後補助金は支出しない」「ホールが建設されても市は買い取らない」と公言しているため、再開発組合VS市長（徳島市）の全面対決は不可避だ。

3）もっとも、「戦をするには軍資金が不可欠」だから、補助金をストップされると資金面での不安は大きい。また、突然「進むも地獄、退くも地獄」の状態に置かれた個々の地権者たちのスタンスはどうなるのか？「再開発は素人」と公言する新市長の登場によって、今後本件が大混迷を極め「悪しき先例」となることは避けたいが、さて・・・。

坂和宏展弁護士近況報告

1）平成28年上半年期の私のトピックスは、なんといってもはじめての子どもが生まれたことと、自分の本を出版したことです。

2）締切りの関係で新年号には書けませんでした。昨年12月に生まれた長女は元気いっぱい成長中。育休中の妻とともに新米パパも、はやりの「イクメン」とまではなかなかいきませんが、事務所と自宅の距離の近さを活かし、夜は何か用事がない限りいったん帰宅して子どもを風呂に入れ、子どもが寝てから事務所に戻ってまた仕事という毎日を過ごしています。休みの日にはベビーカーを押して子どもと一緒に散歩したりと、子どもが生まれて私生活が大きく変わりました。

3）子どもの成長は早いもので、生後半年も経つと体重も生まれた時の倍以上にもなり、抱っここの重さが日々増えていくのも楽しみの一つです。パパも負けずに日々成長しなければと思いますが、体重は増やさずに減らさなければ・・・。

4）昨年末に、はじめて自分の名前で出版した本は、『事実婚・内縁・同性婚 2人のお金と法律』（平成27年、日本法令）。修習同期の今井多恵子弁護士に声を掛けてもらい、税理士、社労士、ファイナンシャルプランナーの各専門家との5名の共著として出版したものです。私が担当したのは「同性婚」の部分。昨年（平成27年）は、日本でも東京都渋谷区で通称「同性パートナー条例」が施行されるなど、「LGBT」（レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーといった性的マイノリティ（少数者）の人々）に関する社会の進展が著しい「LGBT元年」でした。アメリカでも、宗教的背景が絡んだ議論に対し、連邦最高裁が「同性婚は憲法上の権利」との歴史的判決を下すなど世界の潮流が大きく動いた分野で、はじめて自分の名前が冠された本を出すことができたのは大変貴重な経験でした。大型書店やAmazon等の通販でも購入できますので、興味のある方はぜひ・・・。

私が厳選した今年のアカデミー賞の話題は次の 7 つ。①『レヴェナント 蘇えりし者』『マッドマックス 怒りのデス・ロード』『オデッセイ』等の力作を押しつけて、『スポットライト 世紀のスcoop』が作品賞を受賞。②『レヴェナント』のアレハンドロ・G・イニャリトゥ監督が監督賞を、レオナルド・ディカプリオが主演男優賞を受賞。③『クリード チャンプを継ぐ男』のシルベスター・スタローンと予想されていた助演男優賞は『ブリッジ・オブ・スパイ』のマーク・ライランスが受賞。④『キャロル』でのケイト・ブランシェットとルーニー・マーラの主演、助演女優賞のW受賞はなし。主演女優賞は『ROOM』のブリー・ラーソンが、助演女優賞は『リリーのすべて』のアリシア・ヴィキャンデルが受賞。⑤『マッドマックス』は美術賞等の 6 部門の受賞に。⑥『ヘイトフル・エイト』も作曲賞のみに。⑦外国語映画賞は『サウルの息子』（ハンガリー）が受賞。

①『スポットライト 世紀のスcoop』

（監督：トム・マッカーシー）

ボストンのカトリック教会の某神父による児童の性的虐待事件が判明。それも 30 年間に 80 人も！そんな舐添要一東京都知事のセコイ公私混同事件とは比べものにならない大事件を、地方紙の記者たちが徹底追及！

そんなことをすれば、自分の信仰や同郷人のよしみを否定し、定期購読者の 5 割を超えるカトリック信者から反発されるのでは？そんな心配も強いが、それを乗り越えてこそ記者魂の真の発露が！『大統領の陰謀』（76 年）、『インサイダー』（99 年）と並ぶ、そんなすごい社会派ドラマは必見！

②『レヴェナント 蘇えりし者』

（監督：アレハンドロ・G・イニャリトゥ）

「貴公子」の名称がピッタリのレオナルド・ディカプリオが、『タイタニック』（97 年）で獲れなかった主演男優賞を徹底的汚れ役でゲット！「黄金の国から戻った者」を意味する 157 分の大作の前半はサバイバル、後半は復讐の物語だが、アメリカ西部の極寒の未開拓地を舞台とし、毛皮ハンターの白人 VS 原住民との対立を軸としたストーリーはスリリングで、映像美はすばらしい。

また、巨大な熊と対決し、内臓を手づかみで食らい、仇を追うべく、深手の中で地を這って進む肉弾戦のサマに圧倒される。結末には少しあっけなさもあるが、とにかく「満腹感」でいっぱい！

③『リリーのすべて』（監督：トム・フーパー）

日本では、カルーセル麻紀やはるな愛の性転換が有名。

また、今でこそ同性婚や L G B T（レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー）も OK だが、いかに古き良き時代とはいえ、1950 年代のアメリカの女同士の同性愛は？まして、男から女への性転換は？

「この手の映画」特有の（？）、究極の妖しげな姿をタップリと楽しみたい。

④『キャロル』（監督：トッド・ヘインズ）

若い女同士の同性愛なら、断然フランス映画『アデル、ブルーは熱い色』（13 年）や中国映画『中国の植物学者の娘たち』（05 年）。それは魅力いっぱいの世界だが、同時に大いなる危険性も。しかし、子持ちの人妻、キャロルに扮するケイト・ブランシェットがくり広げる若い女性との同性愛になると、離婚や親権の争いも辞さない堂々たるものになっていくので、それに注目！もっとも、それが女の幸せか否かは？？

⑤『ROOM』（監督：レニー・アブラハムソン）

生まれてから 5 歳の誕生日まで、ママと 2 人だけで「ROOM」の中で暮らすジャックの世界観は？そんな 5 歳児に「外の世界」を理解させるのは、「天動説」から「地動説」へのコペルニクスの転回が不可欠だ。

「監禁もの」、「脱出もの」の名作は多いが、主演女優賞をゲットしたブリー・ラーソンがひねり出した、「大脱走」ならぬ「モンテ・クリスト伯」脱出計画とは？もっとも、本作のポイントは脱出成功後の「新世界」＝「本物の世界」で 2 人がいかに生きるかだが、それが意外に難しい。すると、この脱出はホントに良かったの？それとも？しかして、ママとジャックの真の再生とは・・・？



◆ 業務時間 ◆

平日 午前 9 時～午後 6 時

土曜日 午前 9 時～午後 3 時

（業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。）

* 相談に来られる際は日時の予約をしていただき、関係資料を一持参して下さい。

* また相談内容のメモを事前に F A X もしくはメールにていただければ幸いです。

* お車で来られる方はアクセスマップ（車・タクシー用）を参照して下さい。

事務所のホームページ

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>

から印刷して下さい。お電話をいただきましたら F A X します。

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



(96年5月)



(01年6月)



(03年9月)



(04年11月)



(05年4月)



(07年7月)



(08年4月)



(15年11月)

<実況中継シリーズ全4冊>



(03年7月)



(12年4月)



(00年7月)



(02年9月)



(04年6月)



(06年9月)



(04年5月)

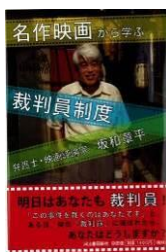
<コラム、生き方、中国語本>



(05年8月)



(13年12月)



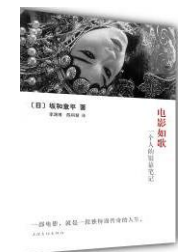
(10年3月)



(10年12月)



(09年8月)



(12年8月)



(05年10月)

<『シネマルーム』シリーズ>



(12年7月)



(12年12月)



(13年7月)



(13年12月)



(14年7月)



(14年12月)



(14年12月)



(15年7月)



(15年12月)



(08年10月)



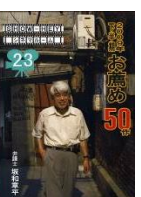
(09年2月)



(09年5月)



(09年8月)



(09年12月)



(10年7月)



(10年12月)



(11年7月)



(11年12月)



(06年11月)



(07年2月)



(07年6月)



(07年10月)



(07年10月)



(08年2月)



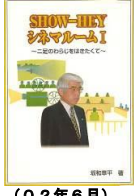
(08年5月)



(08年6月)



(08年9月)



(02年6月)



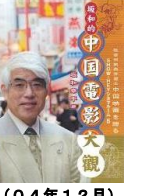
(03年8月)



(04年4月)



(04年11月)



(04年12月)



(05年5月)



(05年10月)



(06年2月)



(06年7月)